

宇宙を旅した桜の苗木

治水緑地に植樹

2月21日、打上川治水緑地で、宇宙を旅した「宇宙桜」の苗木の植樹 記念式が開催された。寝屋川市長・副市長・教育長、高知県仁淀川町教育

次長らが見守る中、山崎直子宇宙飛行士(ワンアース顧問)からのメッセージに続き、市立三井小学校6年生がテーマ曲「きぼうの桜」を合唱し、苗木の植樹が行われた。

呼ばれている。この取り組みは、一般財団法人ワンアースが推進する東日本大震災復興・伝承事業「きぼうの桜計画」の一環で、宇宙を旅した日本各地の千年級の名桜の直系子孫(きぼうの桜)を津波到達点上に植え、千年風化しない避難の目印として、また、復興のシンボルとして千年先の子孫たちに残すというもの。

打上川治水緑地 (寝屋川市太秦桜が丘25)



この苗木は、高知県仁淀川町の樹齢約500年とされる巨木「ひょうたん桜」の種から育てた木の枝を接木したもので、この種は、

未来の子どもたちへ安心・安全への意識をつなげていく「宇宙桜」、千年先まで大きく育て。

2008年1月に宇